

京都線のダイヤ改正について

阪急電鉄では、来年3月をめどに、京都線のダイヤ改正を実施いたします。

近年、少子高齢化やモータリゼーションの進展などを要因として、大きく変化したお客様の鉄道に対する輸送需要動向に対応するため、平日・土休日とも、終日にわたる抜本的な改正を行い、より適正な輸送力の提供を目指して、列車種別および優等列車の停車駅を見直すとともに中間駅における緩急接続を充実させるなど、お客様の利便性の向上を図ります。

概要は次のとおりです。

京都線のダイヤ改正について

京都線ダイヤ改正の主なポイント

「淡路」に「特急」が停車します。

平日の昼間時間帯と、土休日の昼間から夜間にかけて運転する「特急」が「淡路」に停車します。これにより、京都本線と北千里方面ならびに堺筋方面とのお乗り継ぎの利便性が向上します。

「南方」「上新庄」に停車する「準急」を運転します。

現在の「急行」の停車駅に「南方」「上新庄」を加えて、その列車種別を「準急」に変更し、昼間時間帯のほか、平日の朝・夕ラッシュ（～夜間）時間帯、土休日の朝・夕・夜間時間帯にも運転します。

平日の朝・夕ラッシュ時間帯のダイヤを大幅に変更します。

平日の朝ラッシュ時間帯に運転する梅田ゆき「通勤特急」「快速急行」の所要時間を短縮します。

平日の朝ラッシュ時間帯に運転する「通勤特急」が「西院」「桂」「長岡天神」にも停車します。また、夕ラッシュ時間帯にも、この「通勤特急」を「快速特急」に替えて運転します。

現ダイヤにおいて、平日の朝・夕ラッシュ時間帯に運転している、大阪市営地下鉄・堺筋線との直通優等列車「急行」（堺筋急行）および「快速急行」（堺筋快速急行）を「準急」（堺筋準急）に変更するとともに増発します。

現ダイヤにおける大阪市営地下鉄・堺筋線との直通優等列車：「急行」（堺筋急行）は朝ラッシュ時間帯に運転し、また、「快速急行」（堺筋快速急行）は夕ラッシュ時間に運転しています。

1. ダイヤ改正実施日

2007年3月頃（予定）

正式なダイヤ改正の実施日は、決まり次第あらためてご案内いたします。

〔京都線のダイヤ改正は、「洛西口」の開業にあわせて実施した
2003年3月16日以来となります。〕



2.ダイヤ改正の内容

2-1.列車種別と停車駅の見直しを行います

(1)列車種別ごとの運転時間帯の見直しについて

現行	改正後	改正後の列車運転時間帯
特急	特急	平日の昼間時間帯と、土休日の昼間～夜間時間帯に運転します。
通勤特急	通勤特急	平日の朝・タラッシュ(～夜間)時間帯に運転します。
快速特急		運転を休止します。(現「快速特急」停車駅：梅田、十三、高槻市、桂、大宮、烏丸、河原町)
快速急行	快速急行	平日の朝・タラッシュ(～夜間)時間帯、土休日の朝・夜間時間帯に運転します。
急行	準急	昼間時間帯のほか、平日の朝・タラッシュ(～夜間)時間帯、土休日の朝・夕・夜間時間帯にも運転。
急行(堺筋急行)	準急(堺筋準急)	平日の朝ラッシュ(天下茶屋ゆき)と、タラッシュ時間帯(茨木市ゆき)に運転します。
普通	普通	終日運転します。

「快速急行」(堺筋快速急行)を含む

(2)列車種別ごとの停車駅の見直しについて

嵐山線、千里線(下新庄～北千里)は「普通」のみ運転します

京都本線	特急	通勤特急	快速急行	準急	普通	準急(堺筋準急)	堺筋方面	準急(堺筋準急)
梅田							天下茶屋	
十三							扇町～動物園前	
南方							天神筋六丁目	
崇禅寺							柴島	
淡路							淡路	
上新庄								
相川								
正雀								
南茨木								
茨木市								
総持寺								
富田								
高槻市								注1
上牧								注1
水無瀬								注1
大山崎								注1
長岡天神								注1
西向日								注1
東向日								注1
洛西口								注1
桂								注1
西京極								注1
西院								注1
大宮								注1
烏丸								注1
河原町								注1

凡例：「 」…停車駅 「|」…通過駅 「 」…今回のダイヤ改正で新たに優等列車が停車する駅
「注1」…朝ラッシュのみ運転する天下茶屋ゆきの「準急」(堺筋準急)停車駅。タラッシュの「準急」(堺筋準急)は茨木市まで。



2-2. 時間帯ごとのダイヤ改正のポイントについて

(1) 平日・土休日ダイヤ 共通事項

平日の昼間と、土休日の昼間（～夜間）時間帯に運転する「特急」が「淡路」に停車します。これにより、京都本線と北千里方面ならびに堺筋方面とのお乗り継ぎの利便性が向上します。

現在の「急行」の停車駅に「南方」「上新庄」を加えて、その列車種別を「準急」に変更し、昼間時間帯のほか、平日の朝・夕ラッシュ（～夜間）時間帯、土休日の朝・夕・夜間時間帯にも運転します。（現ダイヤにおける列車種別「急行」は運転を休止します）

河原町発 梅田ゆき「快速急行」を1本増発し、その最終出発時刻を23時17分とします。（現ダイヤにおける、最終の梅田ゆき「快速急行」は、河原町23時01分発）

梅田発 高槻市ゆき「普通」の最終出発時刻を24時07分発から24時10分発に繰り下げます。

(2) 平日ダイヤ

早朝時間帯（平日）

梅田ゆき「快速急行」の初発時刻を繰り上げます。

下表の河原町発 および 長岡天神発 梅田ゆき「快速急行」の初発時刻を5時台に繰り上げます。

	河原町発 梅田ゆき「快速急行」	長岡天神発 梅田ゆき「快速急行」
現行	6時00分（6時47分）	6時00分（6時32分）
改正後	5時52分（6時37分）	5時53分（6時23分）

（カッコ）内の時間は「梅田」到着時刻を示しています。



朝ラッシュ時間帯

『ご利用の多い梅田・天下茶屋方面への所要時間の短縮』と『お客様の多い駅への優等列車の停車』を主なポイントに掲げ、1日のうちで最もお客様のご利用が集中する朝ラッシュ時間帯のダイヤを抜本的に変更します。これにより、京都線（本・支線とも）の全駅において発着時間が変わります。

朝ラッシュにご利用の多い、河原町発 梅田ゆき「通勤特急」「快速急行」の所要時間を短縮します。ダイヤ編成のパターンなどを見直した結果、下表のとおり所要時間の短縮が実現しました。

河原町発 梅田ゆき「通勤特急」

	所要時間（河原町 梅田）	途中の停車駅
現行	48分	4駅・・ 烏丸、大宮、高槻市、十三
改正後	47分（ 1分）	7駅・・ 烏丸、大宮、 西院、桂、長岡天神 、高槻市、十三

ダイヤ改正後の「通勤特急」は、新たに「西院」「桂」「長岡天神」の3駅にも停車いたします。また、所要時間には、各駅での停車時間を含んだ代表的なものを記載しています。改正後の所要時間における（カッコ）内は、現ダイヤとの所要時間の差を表しています。

河原町発 梅田ゆき「快速急行」

	所要時間（河原町 梅田）	途中の停車駅
現行	58分	9駅・・ 烏丸、大宮、西院、桂、長岡天神、高槻市、茨木市、淡路、十三
改正後	49分（ 9分）	同上（変更なし）

所要時間には、各駅での停車時間を含んだ代表的なものを記載しております。改正後の所要時間における（カッコ）内は、現ダイヤとの所要時間の差を表しています。

「通勤特急」が、「西院」「桂」「長岡天神」に停車します。

大阪市営地下鉄・堺筋線との直通優等列車「急行」（堺筋急行）の停車駅に「上新庄」を加えるとともに、列車種別を「準急」（堺筋準急）に変更して増発します。

現行	「急行」（堺筋急行） 【内訳】 河原町発 天下茶屋ゆき 3本 高槻市発 天下茶屋ゆき 2本	合計5本（15分間隔）
改正後	「準急」（堺筋準急） 【内訳】 河原町発 天下茶屋ゆき 6本 高槻市発 天下茶屋ゆき 1本	合計7本（約16分間隔）

7時22分～8時45分の時間帯に茨木市発 梅田ゆき「準急」を6本（約16分間隔）新設します。「準急」の停車駅・・ 茨木市、南茨木、上新庄、淡路、南方、十三、梅田



「桂」「長岡天神」において「通勤特急」および「快速急行」が緩急接続します。

現ダイヤの朝ラッシュ時間帯において、「桂」「長岡天神」では、約15分に1本の優等列車の停車でしたが、このダイヤ改正により、両駅に「通勤特急」が新たに停車し、かつ、緩急接続が実現することから、朝ラッシュ時間帯の利便性が大幅に向上します。

「桂」における緩急接続

下り（梅田方面）「通勤特急」および「快速急行」が、「準急」または「普通」と緩急接続します。

「長岡天神」における緩急接続

上り（河原町方面）下り（梅田方面）ともに、「通勤特急」および「快速急行」が、「準急」または「普通」と緩急接続します。

昼間時間帯（平日）

「普通」が優等列車を待避する駅を変更し、上り（高槻市方面）梅田 - 相川間、下り（梅田方面）正雀 - 梅田間では常に「普通」が先着します。
（現ダイヤにおいて、「相川」で下り「特急」と「急行」の2列車を続けて待避する「普通」はなくなります）

梅田～正雀間における「普通」所要時間

	所要時間（梅田 正雀）	所要時間（正雀 梅田）
現行	23分	22分
改正後	19分（4分）	19分（3分）

「淡路」における京都本線と千里線の接続が改善されます。

下り（梅田方面）「特急」が、天下茶屋ゆき「普通」とホーム・ツー・ホームで直ちに接続するほか、北千里ゆき「普通」とも約2分で接続します。これにより堺筋方面や北千里方面へのお乗り継ぎの利便性が向上します。

天下茶屋発の「普通」が約4分で上り（河原町方面）「特急」と接続します。
また、北千里発の「普通」は、約2分で上り（河原町方面）「準急」と接続するほか、7分で上り（河原町方面）「特急」とも接続します。これにより堺筋方面・北千里方面から河原町方面に向かう優等列車へのお乗り継ぎの利便性を向上させます。



タラッシュ および 夜間時間帯（平日）

現ダイヤで運転している「快速特急」に替えて「通勤特急」を運転します。

大阪市営地下鉄・堺筋線との直通優等列車「快速急行」（堺筋快速急行）を「準急」（堺筋準急）に変更して増発します。

なお、同列車は「淡路」で、河原町ゆき「快速急行」と接続することから、そのゆき先を、すべて「茨木市ゆき」に変更します。

現 行	「快速急行」（堺筋快速急行） 天下茶屋発 <u>河原町ゆき</u> 3本 （約30分間隔）
改正後	「準急」（堺筋準急） 天下茶屋発 <u>茨木市ゆき</u> 7本 （約20分間隔）

「長岡天神」において「通勤特急」および「快速急行」が緩急接続します。

「長岡天神」では、上り（河原町方面）「通勤特急」および「快速急行」（梅田23時00分発まで）が「準急」または「普通」と緩急接続します。

また、下り（梅田方面）についても「通勤特急」（河原町22時09分発まで）が、「準急」または「普通」と緩急接続します。

22時台の梅田発「快速急行」を10分間隔（現ダイヤは約15分間隔）に変更します。

一方、梅田発の「通勤特急」は22時00分発を最終とします。



(3) 土休日ダイヤ

朝時間帯(土休日)

梅田ゆき「快速急行」を約10分間隔(現ダイヤは15分間隔)で運転します。
また、あわせて、この朝時間帯より「準急」を運転します。
これにともない「快速特急」の運転は休止します。

河原町発 梅田ゆき「快速急行」(7時40分 ~ 8時40分 梅田到着本数)

現行	4本	(15分間隔)
改正後	6本	(約10分間隔)

昼間時間帯(土休日)

基本的に平日ダイヤの昼間時間帯と同様、次の2点をポイントとしたダイヤ改正を実施します。

「普通」が優等列車を待避する駅を変更し、上り(高槻市方面)梅田 - 相川間、下り(梅田方面)正雀 - 梅田間では常に「普通」が先着します。
(現ダイヤにおいて、「相川」で下り「特急」と「急行」の2列車を続けて待避する「普通」はなくなります)

「淡路」における京都本線と千里線の接続が改善されます。

夜間時間帯(土休日)

20時頃から21時頃に「特急」および「準急」を15分間隔で運転します。
(梅田発「特急」は21時30分発を最終とします)

22時頃から24時頃に「快速急行」を15分間隔(現ダイヤは20分間隔)に変更します。
これにともない「快速特急」の運転は休止します。

以上

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ